

学校 番号	49	学校名	諏訪二葉高等学校
----------	----	-----	----------

令和6年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和6年6月10日（月）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

名 称：令和6年度 第1回学校評議員会
 日 時：令和6年6月10日（月）15：20～16：20 [本校会議室]
 参加者：学校評議員6名、本校職員12名
 次 第：
 開会
 学校長挨拶
 自己紹介
 議事 ①進路支援について ②学習支援について ③生徒支援について
 ④PTA活動について ⑤生徒会活動・部活動について ⑥学校評価について
 評議員より〔授業見学感想・本校への意見・質問・要望等〕
 閉会

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・事前に資料を配布することによって、各係からの説明を必要最低限にすることができた。
- ・会議に先立って授業見学を実施し、本校生徒や先生、学校の様子を見ていただいた。
- ・評議員の皆さん全員が発言できる時間を設けた。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

本校生徒の現状について

- ・真剣に授業を受けていて感心したが、「声が出ない・声が小さい」ことが気になった。元気のない生徒が増えてきているのではないかな。
- ・上記に加え、授業中の発言が少ないなど「生徒の自主性」も低下しているのではないかな。
- ・地元に住んでいるが、いつも気持ちの良い挨拶をしてくれるので感心している。挨拶は基本なので、しっかりと挨拶ができる生徒・クラブは応援したくなる。
- ・コロナ禍を経て、不登校傾向の生徒は増えているか。（質問）
- ・机上にタブレットの代わりにスマートフォンを置いている生徒もいた。AIの使用も含めて校内の決まりはどのようになっているのか。（質問）

諏訪地区生徒減少・高校再編について

- ・将来、この地区でもさらに生徒が減ることが予想される。近隣の中学では、学年1クラス規模となることも有り得るのではないかな。通信制を希望する生徒の増加も影響してくるのではないかな。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・評議員からのご指摘にあったとおり、本校の生徒は、自己主張が苦手な生徒が多い傾向にある。ここ数年取り組んでいる哲学対話等を通して、自分の意見を表現できるようになった生徒もあり、今後評議員の提言にもあったディベートなども視野に入れながら、自己の考えを明確に表現できる生徒を育成していくことは、課題の一つである。
- ・現在のところ、直接的なコロナ禍の影響はないように思える。しかしながら、欠席が多い生徒、不登校気味の生徒については、小学校・中学校をコロナ禍の状況で過ごしたことが影響していることも考えられる。今後も注視していきたい。
- ・携帯電話の使用については、明確なルールがあり、職員で再確認し指導を統一したい。生成 AI 使用については、文科省のガイドライン等も踏まえながら、適切に利用できるよう対応していきたい。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。
なお、報告書のみメール添付にて担当までご提出ください（会議用資料等は不要です）。